

日時:8月29日(木) 09:00 - 10:40

場所:ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル「シルク」



共催: アフリカ連合委員会 (AUC) /

国連アフリカ担当事務総長特別顧問室 (UNOSAA) / 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)

ハイレベルサイドイベント 移動を強いられている人々

— 連帯とパートナーシップの発展へ向けて —

背景

紛争などにより移動を強いられている人々は年々増加しており、現在、世界全体で過去最高の7,080万人に達している。アフリカ諸国は世界の難民の3分の1以上と国内避難民 (IDPs) の43%を寛大に受け入れているが、これはアフリカ諸国だけが引き受けるべきものではなく、国際社会全体で分かち合わなければならない課題である。2018年には「難民グローバル・コンパクト」が締結され、アフリカ連合 (AU) は2019年を「難民、帰還民、国内避難民の年」と定めている。アフリカの難民、国内避難民の問題は、アフリカの発展と繁栄を進めるために、今や国際社会全体で対処しなければならない喫緊の課題となっている。

目的

アフリカで行われている難民、国内避難民支援の好事例や具体的な進展の状況を紹介し、企業や難民自身を含む多様なアクターの取り組み (社会全体としての取り組み) にも触れながら、アフリカで発生している難民、国内避難民の問題を解決するため、いかにして支援の枠組みを広げるか討議する。

キークエスション

▶ アフリカの難民、国内避難民問題の恒久的な解決に向けて、パートナーシップと連帯をいかに広げていくか？

登壇者

H.E. Moussa Faki Mahamat AUC 議長 (調整中)
H.E. Minata Samate Cessouma AUC 政治局長
Hon. Hilary Onek ウガンダ 防災難民担当大臣
北岡伸一 JICA 理事長
Mr. Filippo Grandi 国連難民高等弁務官
Ms. Bience Gawanas 国連アフリカ担当事務総長特別顧問
Ms. Susan Grace Duku (難民代表)
Mr. Allan Maina Waititu エクイティバンク・ケニア特別プロジェクトディレクター
花谷 厚 JICA 平和構築シニア・アドバイザー
石川幸子 JICA 国際協力専門員
二村 伸 NHK 解説委員